令和８年度 第１回大腸がん死激減プロジェクト連絡会議 議事要旨

日　　時：令和８年６月15日（月）19:00～20:20
場　　所：Zoomを利用したWeb会議
出　　席：９名
金城 達也（琉球大学大学院）、金城 徹（琉球大学病院）、
佐村 博範（浦添総合病院）、玉城 研太朗（那覇西クリニック）、
本部 卓也（中部病院）、山本 孝夫（県立八重山病院）、仲宗根 正（那覇市保健所）、
宮城 政剛（新川クリニック）、増田 昌人（琉球大学病院がんセンター）
欠　　席：５名
浅野 志麻（県立宮古病院）、有賀 拓郎（中頭病院）、
玉城 研太朗（那覇西クリニック）、仲地 厚（友愛医療センター）、
宮里 浩（那覇市立病院）
陪　　席：２名
知念 崇（琉球大学病院がんセンター）、西 佐和子（琉球大学病院がんセンター）

【報告事項】
１．令和７年度 第３回大腸がん死激減プロジェクト連絡会議議事要旨について
増田委員より、資料１に基づき、前回会議の議事要旨について説明があり、内容の確認が行われた。

２．今年度の委員について
増田委員より、今年度の委員構成について説明があり、委員の変更はなく、従来どおりの体制で進めることが確認された。

３．宮古島大腸がん検診キャラバン進捗状況について
浅野委員より報告予定であったが、欠席のため、事前に預かった内容について増田委員より代読があり、２点説明があった。
１点目は、今年度もキャラバンを継続して実施する方針であることが示された。本来は規模拡大や訪問型での実施も検討されていたが、現時点では困難であり、昨年度と同様の形式での開催となる見込みである。なお、令和９年２月に宮古島健康フェスタにおいて実施予定である。
２点目は、新たに県立北部病院においても大腸がん検診キャラバンを開催することとなり、令和８年８月30日(日)の実施に向けて準備および関係者によるミーティングを開始する予定であるとの説明があった。

４．NHK テレビ番組「あしたが変わるトリセツショー」の取材について

仲宗根委員より、がん検診をテーマとした NHK 番組の取材について報告があった。今年度は那覇市が取材対象となり、9 月 3 日(木)に放送予定である。

５．日本産業衛生学会報告（産業衛生 100 周年シンポジウム）

仲宗根委員より、産業衛生学会および 100 周年シンポジウムへの参加報告があった。産業保健分野における考え方や沖縄県における課題について共有された。

６．大腸 CT 検査（CT コロノグラフィー）に関する情報提供

※本項目は会議中に追加された報告事項である。

佐村委員より、新たな大腸 CT 検査に関する情報提供があった。下剤不要で内視鏡に近い精度が期待され、受診率向上に資する可能性について共有された。今後の導入可能性について検討が必要とされた。

【協議事項】

１．大腸がん相談室利用方法の改善について

佐村委員より、相談室の利用促進に向けた改善案が示された。病院間ネットワークの強化や症例共有方法の簡素化等について説明があり、今後の検討課題として共有された。

２．大腸がんプロジェクトの最終評価について

増田委員より、資料 3 に基づき、ロジックモデルを用いた評価方法について説明があり、ロジックモデルを用いた評価（ニーズ評価、セオリー評価、プロセス評価、インパクト評価）を実施し、個別施策評価シートに各委員がコメントを記入する形式で進める予定である。また、評価シートについては後日配布予定であり、各委員に対して可能な範囲で意見記入の協力依頼があった。

３．その他

特記事項なし。

令和８年度 第２回大腸がん死激減プロジェクト連絡会議 議事要旨

日　　時：令和８年９月15日（火）19:00～20:20
場　　所：Zoomを利用したWeb会議
出　　席：7名
浅野 志麻（県立宮古病院）、有賀 拓郎（中頭病院）、金城 達也（琉球大学大学院）、金城 徹（琉球大学病院）、佐村 博範（浦添総合病院）、山本 孝夫（県立八重山病院）、増田 昌人（琉球大学病院がんセンター）
欠　　席：6名
玉城 研太朗（那覇西クリニック）、仲宗根 正（那覇市保健所）、仲地 厚（友愛医療センター）、本部 卓也（県立中部病院）、宮城 政剛（新川クリニック）、宮里 浩（那覇市立病院）
陪　　席：2名
知念 崇（琉球大学病院がんセンター）、西 佐和子（琉球大学病院がんセンター）

【報告事項】
１．令和８年度 第１回大腸がん死激減プロジェクト連絡会議議事要旨について
増田委員より、資料１に基づき、前回会議の議事要旨について説明があり、内容の確認が行われた。

２．その他
特になし。

【協議事項】
１．大腸がんプロジェクトの最終評価について
増田委員より、資料2-1～2-5に基づき、大腸がんプロジェクトの最終評価方法について説明があった。最終評価はロジックモデルを活用し、ニーズ評価、セオリー評価、プロセス評価、インパクト評価、総合評価の観点から実施する予定であることが説明された。
また、大腸がんロジックモデル及び各種指標データを用いて、沖縄県の大腸がん死亡率、5年生存率、進行がん罹患率、早期がん割合等の現状について共有が行われた。続いて、個別施策評価シートを用いた評価方法について説明があり、今後、各委員に評価シートを配布し、関心のある施策について意見を記入いただく予定であることが説明された。

２．大腸がん相談室利用方法の改善について
佐村委員より、大腸がん相談室の利用状況について説明があった。相談室の活用が進んでいない施設への働きかけについて検討しており、今後の周知方法について説明があった。

これに対し、各委員より相談室の利用促進に向けた方策について意見交換が行われた。また、大腸がん診療の均てん化や集約化、専門医療体制及び地域連携のあり方についても意見が交わされた。

３．大腸がん検診キャラバン進捗状況について

浅野委員より、宮古島大腸がん検診キャラバンの進捗状況について報告があった。

島根県雲南市において、宮古島方式を参考にした大腸がん検診キャラバンが実施され、検査キットの配布及び回収状況について報告があった。

また、宮古島で実施したキャラバンの結果について説明があり、便潜血陽性者数や精密検査受診状況等が共有された。さらに、令和９年２月に予定している次回キャラバンの実施計画及び宮古島市との連携について説明があった。これに対し、各委員より事業の実施体制や予算、今後の展開等について意見交換が行われた。

４．その他

特になし。